

第2日目 7月26日(日)

第1会場(4F 国際会議場)

教育講演 5 9:00～9:50

座長：高津 宏典（社会医療法人財団白十字会 白十字病院 薬剤部）

EL5 大麻成分カンナビノイドは本当に安全か？

三島 健一（福岡大学 薬学部）

スポンサードシンポジウム 10:00～12:00

オーガナイザー：今給黎 修（福岡大学 薬学部 教授、福岡大学筑紫病院 薬剤部長）

座長：今給黎 修（福岡大学 薬学部 教授、福岡大学筑紫病院 薬剤部長）

林 稔展（福岡大学 薬学部 健康危機管理学教室 教授）

バイオシミラーの安全性を理解し、臨床で活かす ーサイエンスから地域連携、薬剤師の役割までー

バイオリジクス・バイオシミラーのサイエンス

松岡 真人 サンド株式会社 執行役員 メディカルアフェアーズ本部長

抗体製剤から考えるバイオシミラーの特徴と地域連携 ～地域フォーミュラリの構築に向けて～

佐藤 将嗣 医療法人社団康喜会辻仲病院柏の葉 診療技術部 薬剤科長

バイオシミラーの理解・普及に向けた病院薬剤師の役割とは

今給黎 修 福岡大学 薬学部 教授、福岡大学筑紫病院 薬剤部長

共催：サンド株式会社メディカルアフェアーズ本部

ランチョンセミナー 4 12:20～13:20

座長：内田 まやこ（九州大学病院 薬剤部 薬剤部長・教授）

病院経営を変える“コストの見える化” ー薬剤部発 YOKOGUSHI とバイオシミラー活用ー

島ノ江 千里（佐賀大学医学部附属病院 薬剤部 薬剤部長・副病院長・教授）

共催：サンド株式会社

座長：楨林 智子（済生会福岡総合病院 薬剤部長）

アリケイス[®] 導入における当院の運用フローと多職種連携

山田 楊太（福岡大学筑紫病院 薬剤部 主任）

難治性肺 MAC 症治療における安全管理 — 多職種で支える吸入療法 —

串間 尚子（福岡大学筑紫病院 感染制御部・呼吸器内科 准教授）

共催：インスメッド合同会社

WARAI NI NEGAI WOO

大崎 洋（一般社団法人 mother ha.ha 代表理事）

今給黎 修（福岡大学 薬学部、福岡大学筑紫病院 薬剤部）

MC：加藤 恭子（KBC 九州朝日放送）

シンポジウム 7 9:00 ~ 10:30

オーガナイザー：小塚 訓靖 (わんぱく薬局)

座長：清水 敦 (いすみ薬局)

小塚 訓靖 (わんぱく薬局)

医薬品安全性を支える薬局薬剤師の実践と様々な取り組み

SY7-1 きっかけ作りで減薬の力に ～おくすり見える化シートの効果と課題～

加藤 正久 公益社団法人 福岡県薬剤師会

SY7-2 妊婦・授乳婦における医薬品安全性確保と実践的対応
～薬局で迷わない判断と説明～

野口 時恵 野口産婦人科医院

SY7-3 「薬も過ぎれば毒となる」を防ぐ薬局での CKD シックデイ管理と実践

長谷川 浩三 株式会社ハートフェルト 阿蘇中央薬局

SY7-4 「医療が届く」時代における薬局機能の進化

萩原 大樹 株式会社メディバリー

シンポジウム 8 10:40 ~ 12:10

オーガナイザー：菅 裕亮 ((株) なの花北海道 なの花薬局若草店 / (株) メディカルシステムネットワーク 学術部)

座長：植沢 芳広 (明治薬科大学 医療分子解析学研究室)

野口 義紘 (岐阜薬科大学 病院薬学研究室)

副作用データベースの解析方法について議論しよう

SY8-1 自発報告 DB 解析の方法論：
シグナル探索をどう高度化し、どう読み違えないか

野口 義紘 岐阜薬科大学 病院薬学研究室

SY8-2 自発報告データベースを用いた薬物間相互作用シグナル解析の考え方

菅 裕亮 (株) なの花北海道 なの花薬局若草店、
(株) メディカルシステムネットワーク 学術部

SY8-3 自発報告データベースにおける時間解析の意義と限界

舘 知也 名古屋市立大学大学院 薬学研究科

SY8-4 発現時間解析・実践 — JADER を用いて発症時期を読み解く —

鳥海 真也 国立病院機構神奈川病院 薬剤部、明治薬科大学 医療分子解析学研究室

不眠症治療薬の適正使用と医療安全 ～転倒リスク低減に向けた統合的アプローチ～

伊東 弘樹（大分大学医学部附属病院 副病院長 薬剤部 教授・薬剤部長）

共催：第一三共株式会社

シンポジウム 10 13:30 ~ 15:00

オーガナイザー：岡田 賢二（横浜薬科大学 臨床薬剤学研究室）

座長：大石 智洋（川崎医科大学 臨床感染症学）

岡田 賢二（横浜薬科大学 臨床薬剤学研究室）

感染症治療薬の安全性を再考する －抗微生物薬適正使用支援に繋がる安全対策－

SY10-1 感染症治療薬の安全性の再考

岡田 賢二 横浜薬科大学 臨床薬剤学研究室

SY10-2 セフトリアキソンの長期投与による好中球減少から考える安全対策

平野 公基 社会福祉法人聖隷福祉事業団聖隷佐倉市民病院 薬剤科

SY10-3 抗菌薬による薬物アレルギーと適正使用への問題点

上田 真也 国立病院機構 東京医療センター 薬剤部

SY10-4 高齢者のバンコマイシン腎障害：発症率・危険因子・予後

瀧川 正紀 東邦大学 薬学部 臨床薬剤学教室

教育講演 6 9:00～9:50

座長：樋口 恭子（久留米大学病院 薬剤部）

**EL6 脳神経領域における安全な薬物療法マネジメント
－薬剤師の臨床知見を地域での生活に活かす－**

安高 勇気（国際医療福祉大学 福岡薬学部）

教育講演 7 10:00～10:50

座長：中道 真理子（社会医療法人 原土井病院）

EL7 薬剤師目線での不眠症治療における安全対策のポイント

神村 英利（株式会社アトル 薬事統括部）

教育講演 8 11:00～11:50

座長：松元 俊博（独立行政法人国立病院機構九州がんセンター）

**EL8 がん化学療法の安全性向上のための基礎・臨床・データベース多
層的研究**

川尻 雄大（九州大学大学院 薬学研究院 臨床薬物治療学分野、九州大学病院 薬剤部）

ランチョンセミナー 6 12:20～13:20

座長：今給黎 修（福岡大学薬学部 教授／福岡大学筑紫病院 薬剤部長）

潰瘍性大腸炎におけるグセルクマブへの期待

久部 高司（福岡大学筑紫病院 消化器内科 教授）

共催：ヤンセンファーマ株式会社

オーガナイザー：内山 将伸（福岡大学 薬学部 腫瘍・感染症薬学研究室）

座長：内山 将伸（福岡大学 薬学部 腫瘍・感染症薬学研究室）

祖川 倫太郎（佐賀大学医学部附属病院 薬剤部）

薬剤師外来が拓く患者中心の医薬品安全性 －共創によるリスク最小化の実践－

SY11-1 これからの薬剤師外来に求めること

佐藤 栄一 北九州市立医療センター 外来化学療法センター・腫瘍内科

SY11-2 がん薬物療法における薬剤師外来の現在と未来構想 ～リスク層別化が拓く医師・患者・薬剤師の新たな共創～

柿本 秀樹 福岡大学病院 薬剤部

SY11-3 がん医療における精神科薬物療法の安全管理 ～精神科外来における診察前薬剤師面談の可能性～

進 健司 飯塚病院 薬剤部

SY11-4 データ解析を患者支援へ翻訳する －薬剤師外来とともに考える医薬品安全性－

野口 義紘 岐阜薬科大学 病院薬学研究室

シンポジウム 9 10:00～12:00

オーガナイザー：荒川 隆之（医療法人長久堂野村病院 診療支援部薬剤科）

座長：荒川 隆之（医療法人長久堂野村病院 診療支援部薬剤科）

瀧 祐介（菊川市立総合病院）

医薬品安全の視点から再考する薬剤管理サマリーの価値

SY9-1 多施設連携時代における薬剤管理サマリーの再定義 ～安全性視点からの改訂プロセス～

荒川 隆之 医療法人長久堂野村病院 診療支援部薬剤科

SY9-2 切れ目のない薬物療法を支える薬剤管理サマリーの実践と課題 ～地域での有効活用を目指して～

上野 綾海 菊川市立総合病院 薬剤科

SY9-3 向精神薬の安全な引き継ぎを支える薬剤管理サマリー ～地域薬局アンケートから見た情報連携の課題～

別所 千枝 広島県厚生農業協同組合連合会尾道総合病院 薬剤科

SY9-4 処方変更後の「先祖返り」を防ぐ薬剤管理サマリーの活用 ～ポリファーマシー再燃防止に向けた情報連携～

武藤 浩司 新潟市民病院 薬剤部

SY9-5 ゼロからはじまる薬剤管理サマリー ～入院時6剤未満の患者への考察～

岸本 真 霧島市立医師会医療センター 薬剤部